

第 111 回規格会議

2019 年 4 月 12 日（金）に、第 111 回規格会議が東海大学校友会館（霞が関ビル）において開催されました。

今回は標準規格の策定 1 件、改定 5 件、技術資料の改定 4 件、及び規格会議関連規定類の改正が提案のとおり決議されました。



第 111 回規格会議の様子

本規格会議において決議された議案の概要は以下のとおりです。

第 111 回規格会議 標準規格及び技術資料の策定及び改定等の概要

No.	規格等番号	規格名等	概要
1	ARIB STD-T106 2.0 版	構内無線局 陸上移動局 920MHz 帯移動体識別用無線設備標準規格	<p>本標準規格は、電波法施行規則第 14 条、関係告示・昭和 61 年第 378 号（改正 告示・平成 29 年第 284 号）に規定される構内無線局の用途等のうち、移動体識別（無線設備が、応答のための装置（無線設備から発射する電波により作動し、その受信電力の全部又は一部を同一周波数帯の電波として発射する装置をいう。以下「応答器」という。）から発射された電波を受信することにより行う移動体の識別をいう。）用であつて、無線設備規則第 49 条の 9 第 1 号に規定された 916.7MHz を超え 920.9MHz 以下の周波数の電波を使用する無線設備について規定したものである。</p> <p>今回の改定は、920MHz 帯高出力型パッシブ系電子タグシステム（1W 構内無線局）において、ハンディ型の構外利用やイベント等の屋外における様々な用途利用のニーズに応えるため</p>

No.	規格等番号	規格名等	概要
			<p>に行われた総務省の制度整備に対応して、新たに構外利用を可能とする陸上移動局に関する規定を追加するものである。</p> <p>なお、周波数共用を図るため新たな陸上移動局（登録局、免許局）の技術基準は構内無線局（登録局、免許局）と同じである。</p>
2	ARIB STD-T108 1.3 版	920MHz 帯テレメータ用、テレコントロール用及びデータ伝送用無線設備 標準規格	<p>本標準規格は、電波法施行規則 第 16 条（改正 平成 29 年総務省令第 62 号）（関係告示・平成 6 年第 405 号、改正 平成 29 年第 288 号）に規定される陸上移動局の用途等のうち、テレメータ用、テレコントロール用及びデータ伝送用であって、無線設備規則第 49 条第 34 号に規定された 920.5MHz 以上 923.5MHz 以下の周波数の電波を使用する無線設備（第 1 編：簡易無線局）、及び、電波法施行規則第 6 条（改正 平成 29 年総務省令第 62 号）、関係告示・平成元年 第 42 号（改正 告示・平成 29 年第 285 号）に規定される特定小電力無線局の用途等のうち、テレメータ用、テレコントロール用及びデータ伝送用であって、無線設備規則第 49 条の 14（改正 告示・平成 29 年第 286 号）に規定された 915.9MHz 以上 929.7MHz 以下の周波数の電波を使用する無線設備（第 2 編：特定小電力無線局）について規定したものである。</p> <p>今回の改定は、920MHz 帯アクティブ系小電力無線システム(20mW 特定小電力無線局)において、マルチホップ通信や高頻度、大量の情報収集などの多様な利用形態に対応するために行われた総務省の制度整備を受けて、送信時間制限の緩和を行うものである。具体的には、マルチホップ通信を行うスマートメーター等でセキュリティ対策や機能追加のためのファームウェア更新にかかる時間の短縮、河川観測システム等で災害時における各種情報の詳細化、収集頻度の向上等へのニーズに対応するため、複数のチャンネルを切替え利用する場合は送信時間制限を緩和することとする。</p>
3	ARIB STD-T118 1.2 版	時分割・直交周波数分割多元接続方式デジタルコードレス電話用無線設備 標準規格	<p>本標準規格は、無線設備規則第 49 条の 8 の 2 の 3 に規定される時分割・直交周波数分割多元接続方式デジタルコードレス電話(sXGP 方式)について規定したものである。</p> <p>今回の改定は、sXGP 方式自営網の普及拡大に伴い、子機が異なる親機圏内に移動したり所属する親機圏内に復帰するケースが増大しますが、こうした場合の接続を安定かつ円滑に行うために、子機の識別符号に加え網識別のための親機の識別符号に関する規定を追加するとともに、自網外の子機に対する接続拒否理由値に係</p>

No.	規格等番号	規格名等	概要
			<p>る規定を追加するものである。。 併せて、親機の識別符号の付与方法及び管理方法についても、ガイドラインに追記する。</p> <p>sXGP : shared eXtended Global Platform</p>
4	ARIB STD-T119 1.1 版	200MHz 帯広帯域 移動無線中継通信用 無線設備 (可搬型) 標準規格	<p>本標準規格は、無線設備規則第 49 条の 30 に規定される 200MHz 広帯域移動無線通信を行う無線局のうち多段中継 (海上利用を含む) 機能を有する可搬型の公共用広帯域移動無線中継通信設備に関するもので、無線設備の技術的条件のほか、物理層 (PHY)、メディアアクセス部 (MAC) 及び無線ネットワーク制御層 (RNC) 等について規定している。</p> <p>今回の改定は、誤記訂正、明確化のための記載の追加・変更等を行うものである。</p>
5	ARIB STD-T120 Ver.1.20	IMT Systems based on 3GPP Specifications ARIB STANDARD	<p>本標準規格は、3GPP (Third Generation Partnership Project) の技術仕様に基づく国際標準規格 IMT Systems (International Mobile Telecommunications Systems) に関するもので、無線アクセス、コアトランスポートネットワーク、コーデック、セキュリティ、サービス機能などのシステム仕様を規定するものである。</p> <p>第 110 回規格会議 (2019 年 1 月開催) において、3GPP が 2018 年 9 月までに更新したリリース 8 からリリース 15 までの技術仕様を基に、新たに IMT Systems based on 3GPP Specifications (ARIB STD-T120 Ver.1.10) として改定された。</p> <p>今回の改定は、2018 年 12 月までに 3GPP が更新したリリース 8 からリリース 15 までの標準規格を反映するものである。</p>
6	ARIB TR-T23 Ver.1.20	IMT Systems based on 3GPP Specifications ARIB Technical Report	<p>本技術資料は、3GPP (Third Generation Partnership Project) の技術仕様に基づく国際標準規格 IMT Systems (International Mobile Telecommunications Systems) に関するもので、要求条件や今後の規格策定に必要な技術情報を記載したものである。</p> <p>第 110 回規格会議 (2019 年 1 月開催) において、3GPP が 2018 年 9 月までに更新したリリース 8 からリリース 15 までの技術仕様を基に、新たに IMT Systems based on 3GPP Specifications (ARIB TR-T23 Ver.1.10) として改定された。</p> <p>今回の改定は、2018 年 12 月までに 3GPP が更新したリリース 8 からリリース 15 までの技術資料を反映するものである。</p>

No.	規格等番号	規格名等	概要
7	ARIB TR-B39 2.1 版	高度広帯域衛星 デジタル放送運用規 定 技術資料	<p>本技術資料は、高度広帯域衛星デジタル放送の伝送方式による超高精細度テレビジョン放送の放送局での運用並びに受信機の機能仕様に関し規定したものである。</p> <p>今回の主な改定は、新 4K8K 衛星デジタル放送のマルチメディアサービスの拡充や今後において運用が想定される事項への対応のため、字幕・文字スーパーの解像度に関する明確化、文字囲みの運用に関する明確化、音声モード切替に関する改定及び階層変調の構成例の追記を行うものである。</p>
8	ARIB STD-B74 1.0 版	映像・音声・データ 個別ストリーム形式 番組制作用 IP イン タフェースにおける ARIB STD-B73 で 規定されるデータ構 造を持つ RTP スト リームの運用 標準規格	<p>本標準規格は、番組制作用 IP インタフェース上でエッセンス（映像・音声・補助データ）を伝送する際に、ARIB STD-B73 で規定されるエッセンス単一ストリーム方式のデータ構造を持つ RTP ストリームを、国際標準化されている SMPTE ST 2110-10 に準拠するエッセンス個別ストリーム形式の IP インタフェース上で伝送するための規格であり、システムタイミングモデル、トラフィックシェープモデル等について規定するものである。</p> <p>番組制作用 IP インタフェースのデータ構造や運用については、国際的には SMPTE を中心にエッセンス個別ストリーム形式を基本とした ST2110 規格群の策定が進められている。このため、既に規格化・実用化されている ARIB STD-B73 にもとづく RTP ストリームを、SMPTE ST2110 規格群において扱えることが重要である。</p> <p>RTP : Real-time Transport Protocol SMPTE ST2110-10 : “Professional Media Over Managed IP Networks : System Timing and Definitions”</p>
9	ARIB TR-B36 1.2 版	超 高 精 細 度 テ レ ビ ジ ョ ン 番 組 制 作 用 デ ィ ス プ レ イ の 色 域 包 含 率 計 算 法 技 術 資 料	<p>本技術資料は、超高精細度テレビジョンスタジオ規格 STD-B56 で規定される色域に対して、超高精細度テレビジョン番組制作用ディスプレイの色域包含率を計算及び表記するためのガイドラインを記載したものである。</p> <p>今回の改定は、高ダイナミックレンジ映像を用いた映像制作の一般化に伴いカラーサイエンスの世界で色域包含率の評価方法として主流となりつつある体積包含率と、産業界で広く普及している面積包含率の相関が重要視されてきたことを踏まえ、3 原色の面積包含率に比べて相関の低い多原色の面積包含率に関する記載の削</p>

No.	規格等番号	規格名等	概要
			除を行うとともに、関連する参考文献の追加と記載の明確化を行うものである。
10	ARIB TR-B45 1.1 版	テレビジョンカメラ の感度・信号対雑音 比測定法 技術資料	<p>本技術資料は、デジタル出力のみを備えるテレビジョンカメラの普及と統一されたデジタル測定法が定められていないことを踏まえて、感度及び信号対雑音比のデジタル測定法及び表記方法を記載したものである。</p> <p>今回の改定は、テレビジョンカメラの信号対雑音比と解像度特性はトレードオフの関係があり高ダイナミックレンジ映像を用いた映像制作の一般化に伴い信号対雑音比は高いが解像度特性が劣るカメラとその逆の特性を持つカメラを比較する方法が必要となってきたことを踏まえ、異なる性能・仕様のテレビジョンカメラを統一された条件下で評価を行えるように、ARIB TR-B41 に基づいて測定した解像度特性を同一に調整した状態で信号対雑音比を測定する手順を追加するものである。</p>
11	—	規格会議関連規定類 の改正	<p>(一社) 電波産業会規定類の西暦表記について、第 9 回定時総会で規格会議規定等について改正が予定されていることから、規格会議関連規定類について西暦表記対応を行う（書式の変更、又は日付の読み替え）。</p>